

# 山 口 新 聞

平成 29 年 5 月 19 日 (金)

NO.249

農地・水・環境

守ろう 地域の手で



249

当委員会は、山口市南部の榎野川西岸一帯を活動エリアとしている。水源のため池から対象農用地の間が喫緊の課題となっており、自治会との連携強化が喫緊の課題となっている。



会員の皆さん

## 多面的機能の維持・発揮を 川西地域広域協定運営委員会 (山口市)

他地区と同様に耕作者の高齢化や後継者不足で、農業用施設の維持管理も非常に困難な状況にある。そこで、農道や水路あぜののり面保護と草刈り作業の省力化を図るため、地域住民の協力のもと雑草抑制芝(ティフブレア)の植栽に取り組んだ。

種まきや育苗は農事組合法人川西に、移植や散水および除草管理は川西地区農用地利用改善団体に協力をお願いした。

昨年(2017年)は1年後の芝が被覆した情景に期待を寄せながら、のり面傾斜地でのつらい作業だったが、今春、芝が完全に被覆し、短期の労

苦が長期にわたる省力化につながった結果に大変満足している。地域住民の力が結集できたからこそこの活動であり、協力頂いた関係者に感謝している。

これからも農業、農村が有する多面的機能の維持・発揮を図るため、地域の共同活動に住民や組織などと一緒に取り組んでいきたい。



農道のり面の植栽活動

(事務局長、三原郁雄)  
■金曜日掲載■

【メモ】代表 原田昭雄  
▽会員 642人、農家(630戸)、農事組合法人(3)、ボランティア団体(ビオトップ水路保全会、須川緑の会、吹上会)、市川西土地改良区、JA、老人クラブ(佐山ユウアイクラブ、藤尾ひまわり会、大原老人クラブ、親和会)▽設立 2007年5月▽連絡先 山口市深溝48の3、三原郁雄さん、電話 0836-6889-6740